

事務事業評価シート

(H.30)No.	1074	(H.29)No.	1074
-----------	------	-----------	------

事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	健康・子育て支援室	山崎 美穂	

会計区分	事業コード	251505
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	母子保健事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 母子保健事業費	こんにちは赤ちゃん事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。		
事業内容		
生後2か月頃までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みの聞き取りや、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要であれば適切なサービス提供につなぐ。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
主な事業の実績・計画	主任児童委員等による乳児家庭の訪問 主任児童委員 16人 訪問件数 532件		主任児童委員等による乳児家庭の訪問 主任児童委員 16人 訪問件数 約550件予定		主任児童委員等による乳児家庭の訪問	主任児童委員等による乳児家庭の訪問	主任児童委員等による乳児家庭の訪問

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		240千円		305千円	305千円	305千円	305千円
内訳(千円)	国・県支出金	160		202	202	202	202
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	80	0	103	103	103
人工数	職員		0.92人	0.92人	0.92人	0.92人	0.92人
	臨時職員等			0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
②概算人件費	0千円	6,808千円	0千円	6,916千円	6,916千円	6,916千円	6,916千円
①+②総事業費	0千円	7,048千円	0千円	7,221千円	7,221千円	7,221千円	7,221千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
児童福祉法、国の「子ども・子育て支援新制度」(H27~)に基づく事業として、また子どもにやさしいまちづくりのために今後も重要な事業である。育児不安等の早期発見と適切な支援を行い、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境が確保できるような地域社会の形成に貢献している。主任児童委員が地域の民生委員と協力しながら、「生み育てるにやさしいまち名張」の地域づくりのベース部分の事業となっている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
「こんにちは赤ちゃん事業」は国の制度に基づくものであるが、住民同士の支えあい活動推進に活用するため、主任児童委員が訪問している。継続的な地域支援として地域の児童委員や関係機関につなぐ展開が大切である。主任児童委員とともに積極的に取り組んでいる。産後ケア事業との連携や地域の子育て支援事業につながるよう、本事業をベースに各地域ごとに工夫した展開にしていく。	
	ばりっすくすく計画